



## 平成26年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年7月9日

上場会社名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション  
コード番号 1712 URL <http://www.daiseki-eco.co.jp/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 利彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理本部長 (氏名) 村上 実

TEL 052-611-6350

四半期報告書提出予定日 平成25年7月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	2,553	26.2	298	46.0	297	44.5	163	49.7
25年2月期第1四半期	2,023		204		205		109	

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 239百万円 (91.4%) 25年2月期第1四半期 125百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	2,734.56	
25年2月期第1四半期	1,825.57	

平成25年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年2月期第1四半期の対前年同期増減率については記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第1四半期	8,701	5,512	62.1	92,093.18
25年2月期	7,902	5,313	66.0	87,210.88

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 5,410百万円 25年2月期 5,220百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期		0.00		600.00	600.00
26年2月期					
26年2月期(予想)		0.00		6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年3月29日に開示しております「株式分割、単元株制度の採用及び定款一部変更に関するお知らせ」に記載したとおり、平成25年9月1日を効力発生日とした株式分割を行います。その為、26年2月期の配当予想につきましては、株式分割後の数値で算定しております。

### 3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,188	10.9	390	30.0	386	26.1	207	32.0	3,457.89
通期	8,329	10.9	732	23.7	720	19.9	386	29.2	6,448.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 有  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期1Q	59,863 株	25年2月期	59,863 株
26年2月期1Q	株	25年2月期	株
26年2月期1Q	59,863 株	25年2月期1Q	59,863 株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確定要素を含んでいます。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、経済再生を掲げた政府による金融財政政策への期待感から、為替・株式市場で円安・株価上昇の動きが進み、景気回復感が緩やかに高まってきております。一方、税制改正、雇用情勢、日中関係の動向など、国内外の懸念材料は残っており、先行きは引き続き不透明感が残る状況であります。

当社グループの業績に大きな影響を及ぼす不動産市況は、部分的ではあるものの地価の下落基調からの転換の動きが明らかになり、また、新設住宅着工戸数も直近の統計では8か月連続で前年同月を上回って推移するなど底堅く推移しましたが、一方、企業の設備投資は低調な状況が続くなど、当社グループを取り巻く環境もまだら模様でありました。

このような背景のもと、土壤汚染調査・処理事業を大きな柱に据え、リサイクル分野や環境分析分野への展開も積極的に進めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,553百万円（前年同期比26.2%増）となりました。また、引き続き広範囲にわたる原価低減を進めてまいりました結果、利益面では営業利益298百万円（同46.0%増）、経常利益297百万円（同44.5%増）、四半期純利益163百万円（同49.7%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### (土壤汚染調査・処理事業)

部分的かつ限定的な動きではありますが、不動産市況の回復を下支えとし、営業体制の強化及びグループ会社間の連携強化による情報収集の強化等、新たな需要の開拓に注力してまいりました結果、売上高2,267百万円（前年同期比25.8%増）、営業利益284百万円（同18.7%増）となりました。

#### (廃石膏ボードリサイクル事業)

不動産市況が概ね安定的に推移したことにより、建設解体市場も比較的順調に推移いたしました。その結果、売上高185百万円（同14.6%増）、営業利益50百万円（同47.4%増）となりました。

#### (その他)

廃バッテリー等の荷動きが堅調に推移したことにより、売上高133百万円（同31.0%増）、営業利益43百万円（同374.1%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は8,701百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりであります。

#### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末比で995百万円増加し、2,863百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加412百万円、仕掛品の増加447百万円によるものであります。

#### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末比で195百万円減少し、5,838百万円となりました。これは主に、減価償却の実施によるものであります。

#### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末比で607百万円増加し、2,982百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加134百万円、短期借入金の増加309百万円、前受金の増加98百万円によるものであります。

#### (固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末比で7百万円減少し、206百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少10百万円によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比で199百万円増加し、5,512百万円となりました。これは主に、四半期純利益163百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年7月9日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表のとおりであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	259,663	365,669
受取手形及び売掛金	1,357,779	1,769,986
たな卸資産	186,946	639,064
その他	73,854	98,430
貸倒引当金	10,157	9,846
流動資産合計	1,868,086	2,863,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,245,386	1,422,421
土地	3,314,933	3,314,933
その他(純額)	1,000,845	508,306
有形固定資産合計	5,561,165	5,245,662
無形固定資産		
	7,309	6,508
投資その他の資産		
その他	478,541	626,842
貸倒引当金	12,811	40,362
投資その他の資産合計	465,730	586,479
固定資産合計	6,034,205	5,838,649
資産合計	7,902,292	8,701,953
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	510,892	644,898
短期借入金	1,403,323	1,712,671
未払法人税等	125,810	141,066
引当金	29,040	4,201
その他	305,551	479,671
流動負債合計	2,374,618	2,982,508
固定負債		
長期借入金	10,216	-
引当金	118,641	124,761
その他	85,541	81,709
固定負債合計	214,399	206,470
負債合計	2,589,017	3,188,978

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,446,921	1,446,921
資本剰余金	1,242,433	1,242,433
利益剰余金	2,458,600	2,586,382
株主資本合計	5,147,955	5,275,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,749	134,662
その他の包括利益累計額合計	72,749	134,662
少数株主持分	92,569	102,575
純資産合計	5,313,274	5,512,974
負債純資産合計	7,902,292	8,701,953

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	2,023,506	2,553,974
売上原価	1,631,028	2,036,494
売上総利益	392,478	517,480
販売費及び一般管理費	188,067	218,899
営業利益	204,410	298,581
営業外収益		
受取利息	0	44
受取地代家賃	757	2,700
受取保険金	-	1,300
補助金収入	1,798	-
その他	396	1,813
営業外収益合計	2,952	5,857
営業外費用		
支払利息	1,822	868
固定資産賃貸費用	-	5,492
その他	-	1,028
営業外費用合計	1,822	7,390
経常利益	205,541	297,048
特別損失		
固定資産除却損	-	725
特別損失合計	-	725
税金等調整前四半期純利益	205,541	296,323
法人税、住民税及び事業税	92,521	137,856
法人税等調整額	6,031	19,377
法人税等合計	86,489	118,478
少数株主損益調整前四半期純利益	119,051	177,845
少数株主利益	9,767	14,146
四半期純利益	109,284	163,699



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	119,051	177,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,201	61,912
その他の包括利益合計	6,201	61,912
四半期包括利益	125,253	239,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,485	225,611
少数株主に係る四半期包括利益	9,767	14,146

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、「土壌汚染調査・処理事業」と「廃石膏ボードリサイクル事業」の2つを報告セグメントとしております。「土壌汚染調査・処理事業」は、土壌汚染の調査から浄化処理まで一貫して請負い、営業活動を含めた事業活動を一体的に行っております。また、「廃石膏ボードリサイクル事業」は、廃石膏ボードを選別・破碎・ふるい分け等により製造した石膏粉を石膏ボードメーカーに納品すると共に、石膏粉を主原料とした固化剤を製造、販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土壌汚染調 査・処理事 業	廃石膏ボー ドリサイク ル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,802,694	160,955	1,963,650	59,856	2,023,506	-	2,023,506
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1,036	1,036	41,626	42,663	42,663	-
計	1,802,694	161,991	1,964,686	101,482	2,066,169	42,663	2,023,506
セグメント利益	239,842	34,560	274,402	9,115	283,518	79,107	204,410

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業、環境分析事業、BDF事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 79,107千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土壌汚染調 査・処理事 業	廃石膏ボー ドリサイク ル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,267,990	185,134	2,453,124	100,849	2,553,974	-	2,553,974
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	612	612	32,180	32,792	32,792	-
計	2,267,990	185,746	2,453,737	133,029	2,586,767	32,792	2,553,974
セグメント利益	284,872	50,947	335,820	43,222	379,042	80,461	298,581

(注)1.「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業、環境分析事業、BDF事業等を含んでおります。

2.セグメント利益の調整額 80,461千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。